

令和 7 年度第 1 回
特定非営利活動法人あいらかつき 地域連携推進会議議事録

1、開催日時

令和 7 年 11 月 17 日（月）13：00～15：00

2、場所

あかつき リビング

3、参加者

- ・利用者代表 武内 政宏
- ・利用者家族代表 藤井 勝敏
- ・地域の代表 河津原中組町内会長 南 秀紀
- ・理事長 平 佑介
- ・あかつき管理者 灘邊 英俊
- ・あかつきサービス管理責任者 山田 春佳

4、議題

- | | |
|--------------------|---|
| ① 「開会あいさつ | 」 |
| ② 「出席者紹介 | 」 |
| ③ 「障害について | 」 |
| ④ 「利用者の日常生活の様子について | 」 |
| ⑤ 「地域課題について | 」 |
| ⑥ 「支援者の様子 | 」 |
| ⑦ 「質疑・応答・意見交換など | 」 |
| ⑧ 「その他 | 」 |

5、議事録について

議題①について

- ・サービス管理責任者より、地域連携推進会議の概要についての説明を行った。

議題②について

- ・サービス管理責任者、町内会長、利用者家族代表、利用者代表、理事長、管理者の順に名前、所属、好きな休日の過ごし方を伝えた。

議題③について

- ・サービス管理責任者より、資料を見ながら障害とはどんなものがあるのか説明を行った。

議題④について

- ・管理者より、まず「共同生活援助」、「高次脳機能障害」、「グループホームの種類について」の説明を資料を交えながら行い、その後日常生活の様子の説明を利用者代表から行った。

[質疑]

- ・「月に1回程度、入居者全員でイベントや外出する機会を設けているが、おすすめの場所やいいアイデアはないか」

(回答) 藤井さんのお子さん(入居者)がお父さんの作るお好み焼きがうまいと言われていたので、ふるまいに来てくれないか。→生地を差し上げます。

議題⑤について

[質疑]

- ・「町内の行事などはどのようなものがあるか。また、どのように情報共有されているか。」

(回答) 1月のとんどや10月の祭り、川の草刈りなどがある。河津原連合会、町内会(年に一度総会がある)、そういった集まりで共有している。行事については今後声をかけていくので参加してもらえれば。

- ・「利用者家族として、何か困っていることや要望などはないか」

(回答) 家族以上によく見ている。感謝している。

議題⑥について

- ・サービス管理責任者より、先日の見学時に出ていた質問(どんな人が働いているか)について、資料を見ながら説明を行った。また、虐待防止研修など、義務付けられている研修について、職員一人一人が意識を高められるよう努めていることを報告した。
- ・理事長より、月に1度の正職員会議、パート会議についての説明と、その中で取り上げてきた「脱健着患」や「車いすの方の移乗方法」について、実際に動きなどを交えて説明を行った。

議題⑦について

- ・南「毎週土曜日勤務している眼鏡屋に車いすのお客様が来られる。今回、その介助方法を知ることができ、『そういうことか!』と気づくことができたので良かった。建物があるのは以前から知ってはいたが、実際に入ったことがなかったのでどんな所なのか、どんな方がいるのかをこういう機会がないと知ることができないのでありがとうございました。町内会の人たちにも伝えていこうと思う。」
- ・藤井「資料の準備など大変なのにしっかり用意していただきありがたい。もっと地域の人たちに伝えてほしい。」
- ・灘邊「準備している段階では大丈夫かなと不安な部分もあったが、皆さんいい方たちばかりだったので安心した。先日の見学も今日の会議も非常にいいものになって良かった。」
- ・平「虐待防止法と障害者差別解消法は表裏一体。例えばものを利用者さんが落とされたとき、「自立支援だから自分で拾いなさい」と突き放しすぎても虐待につながるし、だからといって自分で拾うことができるのに、良かれと思ってか本人の意思も確

認せずに全部拾ってあげると「その人からものを拾う機会（権利）を奪う」ことになる。そういった日常生活の中からその動作を奪うことが廃用症候群を引き起こし、残存機能の低下を招くことになる。それは極端に言えば、「この人は自分でものを拾うことができない（人に拾ってもらった方がいい）」という差別（偏見）につながってしまう。なのでどちらの考えも極端にならず、バランスが大事。こういった障害に対する理解を深めたいという声があれば、呼んでいただければいつでも赴く。今日はありがとうございました。」

議題⑧について

特になし

6.閉会